

徹底取材
普及アレルギーに効く!

GOOD MORNING

東京都倫理法人会広報誌グッドモーニング

Vol.405

「ワクワクが化学反応を起こす！」東京都倫理法人会副会長対談-2ページ

普及を科学する

会員増強と普及（あまねく及ぼす）とは-3ページ

組織の規模や現状に合わせた普及活動とは？-5ページ

「もともとつながる」とはどういうことなのか-4ページ

普及できる人の考え方-6ページ

18秒の朝食会コメントに会員個々の想いが宿っていた！-7ページ

8ページ-コロナ禍の中、なぜ倫理に入会したのか。
そして、生じた変化とは

9ページ-普及はチーム戦、得意分野で明るく楽しく

『Tokyo倫理アライブ！』とは？-10ページ

報告・「なんば鍼灸院の流儀」-11ページ

報告・女性委員会主催第3回定例会-12ページ

連載コラム 滝澤佐江子(ちより)/ここにたん/富岡健一-13ページ

イベント案内/図書紹介-14ページ

1

JANUARY

2021

ワクワクが化学反応を起こす！

今号の特集「普及を科学する」では、様々な視点から「普及」について考えていきます。まずは東京都倫理法人会の3名の副会長、小林良子氏（第一ブロック長）・藤間秋男氏（第二ブロック長）・赤木麻紀氏（第三ブロック長）に「普及とは？」とお伺いしたところ、普及と科学の関係性が少し見えて来ました。

普及は幸せ拡大、 幸せの波紋を巻き起こせ！

小林 普及をすると自分の倫理の学びの現在位置がわかるんですよ。学んだことをアウトプットすることで今の自分の課題がわかる最高の倫理実践なんです。

藤間 そうですね。色々な会員さんの経験を聞きながら自分の血となり肉となる。普及はまず自分のためですね。でもその先、入った人はそこでいい学びがあり、人のためにもなるんです。会社経営でも「ウチと付き合った方が絶対トクだ(相手のタメになる)」と思っているから拡大する。普及も仕事の拡大も同じなんですよ。

赤木 普及は『幸せ拡大』だと思います。人の幸せな笑顔を見ると私も嬉しいです。石を投げると水に広がる波紋のように幸せも広がっていくんですよ。



小林良子副会長（第一ブロック長）

幸せや感謝を数値化する？

小林 「普及を科学する」と言えば、経営者モーニングセミナー（以下、MS）でしびれるような化学反応が起こりますよね？

藤間 色々な人がいると感動が増えるんですよ。

小林 倫理運動の創始者・丸山敏雄先生の純粋倫理では、幸せや感謝と言う数値化されないものを「絶対倫理」（絶対＝100）と言う言葉を使い数値化した。それって科学ですよ。

赤木 そうですね。科学とは、本質を追求するものですね。

藤間 ノルマではなく「この人と学びたい」という想いの数値化ですね。



藤間秋男副会長（第二ブロック長）



赤木麻紀副会長（第三ブロック長）

ワクワクが化学反応を起こす！

小林 ある保育園で(倫理法人会で推奨している)活力朝礼を導入したら、子供達も一緒にやるようになって、家に帰っても(活力朝礼の基本動作である挨拶実習の)「ハイ」を親に求めるようになったんです。関わる家族までもが1つの合言葉を共有でき、喜んでいただけるのが素晴らしいですよ。

藤間 (「万人幸福の栞」の)17カ条は「毎日ワクワクすること」だと思っています。ワクワクしている社長の会社は社員もワクワクして素晴らしいですよ。倫理を学べば学ぶほど表情が明るくなってきます。

赤木 そういう人に人は集まるんですよ。

小林 それが「普及を科学する」ひとつかもしれないですね。

世界に届け、ワクワクの化学反応！

赤木 普及で一番大切な事は同じ志をもって「みんなで幸せになれたらいいな」と言う気持ちだと思います。

藤間 みんながワクワクするような世界が広がったら素晴らしい。

小林 ワクワクの共有こそが普及だと思います。全世界が明朗・愛和・喜働となったら世界が平和になりますよ。世界中で幸せの共有が出来るなんて天国みたい。

藤間 ただ想いがあっても具体的な数字が無いと具体的な対策が出来ないですよ。

小林 幸せがどこまで広がったのかを数値化することが、普及の数字なんですよ。

赤木 絶対幸せになれる道筋を知ったら、周りの人に知らせなかったらもったいないですよ。



普及が何故必要なのかを少しずつ見えてきたところで、次の章では普及の内側と外側について掘り下げて考えてみましょう！

取材・記事執筆：菊池裕子(中区④)・瀧澤佐江子(渋谷区④)・武田光留(墨田区④)・西尾行雄(浅草④)
撮影：齊藤聡(四谷⑤)・山本博基(世田谷/副委員長) ※丸数字①～⑧は広報委員会内のチーム番号

会員増強と普及(あまねく及ぼす)とは

倫理法人会に入会すると必ず耳にし、口にする「普及」。「普及」≡「会員増強」と捉えていたけど、どうやらそうでもないらしい。そんな「普及」について(一社)倫理研究所 三浦眞史首都圏方面長にお話しをお伺いしました。

会員増強と普及は対立ではなく並立するもの

—倫理法人会活動の中でいつも数字(会員数)が議題に上がり、目標まであと〇社だとか、100社復帰だ!と言う事にどこか違和感を感じていました。ずばり「会員増強」と「普及」の違いはどのような事でしょうか?

「(倫理法人会の組織母体である)倫理研究所では『会員増強』と『普及』という用語の意味の違いを、特に定めている訳ではありません。しかし、もし前者が『何の理由も意義もなく単に会員数を増やし強化する事』を意味し、後者がその反対の意味として認識されているのだとしたら、『(私たちが学ぶ)純粋倫理に基づいた企業経営を実践する企業を増やしていく』という視点に立っているか立っていないかだと思います。

あくまで私見ですが『増強』の語感には、その枠に会員を“入れる”イメージが強い。対して『普及』は、外へ“広がる”イメージとして捉えられると思います。増強された組織や会の力をもって、純粋倫理を外に広く及ぼしていくとしてみるならば『増強』と『普及』は打ち消しあうようなものではなく『並立』するようには思います。つまり会員の増強がなければ活動はできませんし、普及しなければ意味を成さないのです。

新たな土地に、新たな単位倫理法人会(以下、会)を作った経験がある方はわかると思いますが、会の草創期には『増強』を優先せざるを得ない時期もあるでしょう。これは、増強によって会や組織の形を整え、外に向かうエネルギーを蓄えるためです。また、普及する事によって会員が増え、人材が育成され結果的に増強が実現する事もあります。両者はバランスよく行われるものであり、その見極めと采配が上手い会は健全な成長を遂げているように見受けられます。

『なぜ普及するのか』の参考資料としてお勧めする書籍は、丸山敏秋理事長の研修録『正しく学び 楽しく動く』です。(脚注:本書は千代田区紀尾井町の倫理研究所本部他にて購入可能)

普及すると己が救われる?

—会員増強は内側を強める力、普及は外側に広げる力、会のステージによってこのバランスをどうとるかが大切だと言う事がとてもよくわかりました。では「正しい普及」とはどのような事と捉えたらよろしいのでしょうか?

「『正しい普及』という問いの裏には『悪い普及』という反対の考えがあるように思われます。しかし、これを論じると切りがありませんので、ここでは正面から『正しい』という事を考えてみたいと思います。純粋倫理では『正しさ』をどう捉えているか。

それは『万人幸福の栞』第8条に明記してあります。

『真に正しい事とは、まず己が救われ、それと一しょに人が救われることでなくてはならぬ』

『真に正しい事』すなわち最高善とは『まず自分、そして同時にあなた』が「救われること」なのです。

この意味からすると、『正しい普及』とは『普及する側』が救われる



ということになります。「救われる」を言い換えると『学び』と捉える事もできます。つまり『純粋倫理を伝える事で学びが深まり、そして同時に、伝えられた人が救われる』という事になるのです。まず間違いないのは自分が『純粋倫理を学んで良かったな』という事を伝えていく事です。そこを軸にすれば、正しさから外れる事は無いと思います。」

良いと感じた事を素直にお伝えする事から始めよう!

—なるほど、普及というのは自分自身の学びにもなり、そこに楽しみが生じるものなのですね。普及が自己革新に繋がるという事は目からうろこでした。

「普及というと特別かつ大がかりなイメージで捉えられがちですが、ささやかであっても、自分自身が日々学び、実践して、感じている純粋倫理の良さを、そのまま素直に気軽にお伝えする事から始めると良いと思います。例えば『万人幸福の栞』を読んで『いいなあ』と思うフレーズがあれば、それを友人との会話の中で紹介してみたり、朝起きの実践をしてみたり仕事にスムーズに運ぶようになった事を社員さんに話してみたり、活力朝礼の効果を経営者モーニングセミナーの朝食会で発表してみたりする事です。」

—普及というととても大がかりな活動という風に思っていたのですが、今の自分が感じている倫理の良さを楽しみながらお伝えする事が普及なんですね! それなら私にもできそうな気がします!

普及に苦心している会員さんへ創始者からのメッセージ

純粋倫理の提唱者である丸山敏雄の言行録の中に以下のような一節がある事を教えて頂きました。

「この倫理は、ほんとうにすばらしいものだから、ただあなたが口から伝えさえすれば、おのずと人は寄ってきますよ。教えるとか、なんとか朝の集いにひっぱり出そうとするのではなく、<この倫理はすばらしいものだ>とあなたが決意すればよいのです。」(出典:『全集』別巻1 154-156頁)

—会の状況、現在のステージによって会員増強と普及のどちらに比重を置いて運営していくかが大事である事、また倫理の素晴らしさを信じて、楽しみながら自分の周りにお伝えしていく事が重要であるという事がよくわかりました。難しく考えず、背伸びせずに身の丈に合った普及活動を進めていこうと感じました。

「もととつながる」とはどのようなことなのか

家族関係においては、親や祖先を敬い、子を慈しむ、といった意味合いを持つ「もととつながる」という言葉。それでは、普及において「もととつながる」活動とはどのようなものなのでしょうか？ 100社を達成された墨田区倫理法人会の森園文恵会長にお話を伺いました。

普及は「ワクワクすることが大事」

会長に就任した際、普及をどのように進めていけば良いのかわからず不安でした、と森園会長。そんな時、高嶋会長から「心配することはない、前向きにワクワク楽しくやってください。万人幸福の葉に書いてある明朗・愛和・喜働を実行することで普及はできる、街を見渡せばたくさんの方がいます。みんな待ってますよ」と言っていた、前向きに普及活動を進めることができたそうです。また、墨田区倫理法人会の会員については、「私は色々できないことがあるけれど、みんなが助けてくれて、ほーんと感謝です」とのこと。

墨田区ではMSの後に終わりの会を持ち、ゲスト様への対応や、zoomの反省点など、気づいたことを話し合っています。また、終わりの会の内容をまとめてLINEで流すことにより、メンバー全員で共有。会員それぞれが気づいたことをやってくれていて、その姿に私もまたワクワクしています、と笑顔で語られました。

「もととつながる」の実践

退会者が出たり、特に長くいた方がやめられたりすると誰しも落ち込むもの。森園会長も、会長をやめた方がいいのではないかと悩み、涙することもあったそうです。そんな時、高嶋会長に電話で相談したところ、「出る人がいても新しい人が入ればいいんです」と力強い言葉がありました。幹事長や地区長をはじめとした多くの方々に助けられ、励まされてここまでできました、ほーんと感謝です、と微笑みながら語られました。

困ったときは必ず相談する、これはおすすめです。どんな時も、すぐに対応してくれることに助けられています、とのこと。

困ったときは上司に相談し、感謝の気持ちを持って素直に実践する。森園会長の「もととつながる」実践により、周りの人々が喜んで手を貸してくれるという循環ができています。そのパワーにより会員は増え、今期に入って墨田区は3度の月間MVP獲得と快進撃を続けています。

「会はみんな家族だから」

普及にはまず、MSに来てもらわなければいけません。そのためには準備が重要。先に紹介者と打合せをして会長が会い、みんなで情報共有をして、ゲスト様をあたたくお迎えしています。また、できるだけリハーサルやシェア会にも参加してもらい、皆で学ぶ姿勢を大切にしています。

みんな墨田区が好きで、良いと思っているものは人に広めたいという気持ちが自然と普及につながっています。自分の所属単会を愛さないと普及はできません。会はみんな家族。一緒にがんばり

ます、と森園会長。

会長の仕事は普及です。毎朝4時半に丸山創始者に100社達成を祈って力をもらい、実現することができました。さらに110、120社を目指していきます。

MSは心を磨くところ、だから多くの人に来てほしい。時代の変化により会員が減るのも増えるのも自然なことですが、だからこそ未来へつないでいくことが大事です。どんな時も基本は変わりません。新しい人が来たら、任せていくことで会は良くなると思います。そして、心からの感謝と頑張りが大事、ご縁を大切にワクワクすることをやっていけば必ず道は開ける、と信じています、と熱く想いを語っていただきました。

口癖のように、「ほーんと感謝です」「私できないからね」「みんなが助けてくれる」と話すのが印象的だった森園会長。素直な心で感謝の気持ちを伝えるその姿に、皆が会長のことを好きになって墨田区が盛り上がっていったと感じました。

都の会長はじめ、幹部と連携し、明朗・愛和・喜働という変わらぬ基本を体現して会員をつなげる姿勢に「もととつながる」ということを教えて頂きました。



取材：秋元亜希(文京区⑧)・武田光留(墨田区④) 記事執筆：原見由美子(晴海⑧)

組織の規模や現状に合わせた普及活動とは？ 2つの単会に聞いてみました！

一口に倫理法人会といっても、単会それぞれに規模の違いや特色があるもの。普及活動も組織の現状に合わせた取り組みが求められます。今回私たちは、現在会員数60社弱・倫理歴2年以内の会員が多い品川区倫理法人会と、会員数100社ほど・32年の歴史を持つ文京区倫理法人会に伺い、独自の取り組みについてお伺いしました。

品川区倫理法人会 加藤 直人 会長／野村 高士 専任幹事



倫理歴は浅くとも率先して実践し、背中を見せていく

以前は会員数が単会の基準50社を大きく下回ったこともある品川区。2018年に開催された25周年記念式典で100社達成したのち、コロナを経て現在60社弱です。役員は倫理歴が浅い方が大半で単会六役＋幹事では倫理歴2年半の加藤会長が1番の古株だそうです。

「皆、自分を含めて倫理歴が浅く大きな倫理体験を持っているわけではないため、等身大の自分を見せるしかない。現在進行形で成長していつか姿を見せていくことが普及につながっていくと思う。役員が率先して倫理を実践し、新メンバーはその様子を見て良さを実感してほしい」と加藤会長。

『わかっているけど動けない…』から、『動ける！』へ

会長就任後、普及という漠然としたテーマの「共通言語」を作るため、普及の道筋を一枚の紙に表す『未来地図』を作り、単会運営に活用してきました。「何をしたいかわからない」という状態から、進むべき目標を会長が未来地図で示し、具体策は役員が決めて実行していくと決めたところ、活発な意見交換ができるようになったそうです。現在はモーニングセミナー朝礼のブラッシュアップに取り組んでおり、さらに会員の心が揃ってきているとのこと。セミナー会場では、会員全員が朗らかにおもてなしをされていたのが印象的でした。

「いつも会長だけが一人で引っ張っていく組織では、いずれ会長が疲弊してしまい、限界がある。役員、メンバー全員が考えて動ける組織になるといいですね」と野村専任幹事が語られました。

普及のヒント(品川区)

- ★一緒に成長できる雰囲気を作る→新しいメンバーが入るといい好循環を作る
- ★普及への道筋を分かりやすい共通言語で示し、全員が考えて動ける組織を作る



文京区倫理法人会 宮田 剛志 会長



無理な普及をやめ、自然に人を呼びたくなる魅力的な会に

宮田会長が就任した際、入会1年以内の退会者比率が高いと感じられたそうです。毎年、年度末が迫る7月頃から目標達成のために焦りだし、無理な普及を行い、期が変わると人数が減る。このパターンに気づいた宮田会長は、数字を過度に追わない「自然普及」を念頭に置くようになりました。コロナのこともあり、今年度は普及の中間目標を低めに設定。付き合い入会などの無理な普及をやめたところ退会者が減ったそうです。もともと文京区はアウトホームな雰囲気のある会。自然と会に参加したくなる、知人に呼びかけたくなる、そんな会を目指しているとのこと。

既存会員を大切に、幹事には具体的な役割を与える

「退会者を減らすことができれば、無理な普及をしなくても目標数を達成できる」と宮田会長。コロナ禍の中でまずは単会の基盤を固め、既存会員の参加率を重視する方針をとられました。

会の規模が大きくなると、一人一人の存在が希薄になってしまうことも。LINEで細やかに連絡を取るとともに、会員の相互理解を進めるために「My Job Share」という自分の仕事について話す機会を設けました。また、会員の学びの場として「文の京(みやこ)塾」という講話の勉強会も続けています。

「魅力ある会にするため何かをやらうとすると、会の中に必ず適任者がいる」と宮田会長。あえてたくさんの役割を作り、会運営に関わる人を増やした結果、今は会員が自ら動く組織になったとのこと。「会員数は4人増え、中間目標クリア、退会者が少ないのでこれを維持していきたい。これからが正念場」と力強く語って頂きました。

■普及のヒント(文京区)

- ★普及の数字ばかり追わず、自然と入りたい・人を呼びたい魅力的な単会を作る
- ★新会員の獲得とともに、既存会員の退会防止策も同時に考え取り組む

取材：秋元亜希(文京区⑧)・小西功一(練馬区①) 記事執筆：前山田彩(銀座⑧) 撮影：齋藤聡(四谷⑤)

普及できる人の考え方

「普及と言っても具体的にどんなことが普及に繋がるのかわからない」そんな会員さんも多いかと思えます。そこで、昨年の会長就任時は81社だった会員数を1年で105社まで増やした大躍進の立役者、足立区倫理法人会の宮井晴史（みやいせいじ）会長にお話をお伺いしました。人が集まるのには、必ず理由があるはず。その真相に迫ります。

宮井会長が思う「普及で大事な事」とは？

一昨年度の宮井会長の個人普及実績として、入会数17に対して退会がゼロというデータを拝見しました。宮井会長ご自身は、どんな行動が普及に繋がったとお考えですか？

「明るいコミュニケーションですね。会長になったのをきっかけに仲間を誘ったら『宮井が言うなら』と入会してくれました。初対面の方でも仲良くなると『経営者モーニングセミナー（以下、MS）に遊びに来ない？』と誘います。すると、必ず来てくれます。普段から自分自身が人と明るく接しているので、それだけで（足立区倫理法人会が）良い会なんだということが伝わります。明朗な心が大事です。」

一通常、入会が多いと退会も多くなりがちですが、足立区倫理法人会は全体として退会者が少ないように思います（昨年度入会36退会14）。既存会員さんへの普及として取った行動はありますか？

「お誕生日にお花を持って会社訪問をしました。また、MSに参加していない会員さんへ『仲間になりたいんで』と、ご挨拶にまわりました。このご挨拶がきっかけでMSに来てくれるようになった方がいらっシャいます。」

実際にMSに来てくれた方には必ず、行きも帰りも全員に声をかけます。お誕生日もそうですが、とにかく会員さん一人一人を気にかけています。」

普及により会全体に変化が！

一入会者が増えた事により役職者の方の行動や気持ちに変化はありましたか？

「『自分だけ勉強する』から『みんなで会を作る』になりました。以前は、ただ各々でMSに参加するだけの会員がほとんどで、会場準備も高山専任幹事が一人だけでしていました。自分（宮井会長）が1年かけて役職者の方たちとコミュニケーションを取り、入会者が増えたことで『新しい会員さんと楽しさを共有したい』という意識になり、今は5人以上で準備から参加するようになり、会を作っています。」

力を合わせて会を作ることが、会員さんそれぞれの『もっと仲間を呼びたい』という気持ちにも繋がっています。仲間にも入会してもらいたいと思ったら、まずMSに来てもらい、みんなでフォローするということも忘れていません。」

普及活動への第一歩！

一役職者問わず私たち会員がすぐにできる行動はありますか？

「まずはMSに参加して自分自身が楽しむことです。」

普及って無理やりするものではないですし、楽しい事は自然に誰かに伝えたくくなります。新入会員さん・役職者に関係無く、全ての会員さんにとってそれは同じですよ。」

宮井会長は終始笑顔で楽しそうにこうもおっしゃっていました。

MSは楽しいと思うから来てくれる。帰る時に「本当に楽しかった」と感じていただけの演出をどうするのが、会長、専任幹事ほか役職者の大事な役割です。一人一人の会員さんを気にかけるのもそう。それを、やり続けることで普及心がない人でも段々普及心を持つようになります。普及は会長を中心とした会の運営側の楽しむ気持ちが伝わって初めて起こるものなのでしょう。私たちも、まずは活動をしっかりと楽しんでいきたいと思えます。



18秒の朝食会コメントに会員個々の想いが宿っていた！ 普及に強い単会の事例（新宿区倫理法人会）

経営者モーニングセミナー（以下、MS）の月間参加社数223社、1回平均参加社55.7（共に2020年10月）、皆勤人数（zoom込）54名（2020年9月）と盛況な新宿区倫理法人会。明るく自ら行動する会員たちの姿は、まさに入会した既存会員向けの普及がなし得るもの。そんな新宿区のMS取材し、篠原由香会長にお話を伺いました。（※取材は11月中旬に感染症対策に配慮して行いました）

人集めはしていません。 みんなが自発的に集まり楽しむのです！

MS会場を訪れてまず嬉しかったのは、取材陣一人一人の名前を書いた予約席シートがセットされていた事です。入会直後の会員へも、ウェルカムシートがセットされ、多くの既存会員に笑顔で名前を呼んで挨拶される「歓迎ムード」が、「自分は待たれていた」と安心感を与えます。

皆勤人数の多さに関して、篠原会長は「みんな来るのが当たり前になっています。人集めを目指している訳でなく、自然に楽しんで集まっているのです」と率直なお答え。会場都合でコロナ禍60名までの収容ですが、毎週の会場参加席は、直ぐに埋まります。当日の体調不良以外にお休みはなく、朝起きできず来なくなる会員もいません。どうやら篠原会長の掲げた「一人一人をスターに！」という方針に秘訣がありそう。それが見られたのが会員スピーチと朝食会のコメント発表でした。

専任幹事時代の苦難から生まれた、 みんながみんなを応援する気風

新宿区の朝食会は独特です。スタンドマイクに大声で「苦難福門〇%の〇〇でーす！」と、お笑い芸人さながらの自己紹介。それに対し会場から多くの応援の掛け声が返ってきます。コメント発表は、参加者全員（zoomは顔出しの方全員）に回ります。時間延長の破約はなし。取材時は、持ち時間18秒だけの注目の晴れ舞台！この洗練されたコメント発表は、僅かな時間に考えを凝縮し、段取りよくまとめる訓練になります。

「昔は厳しい雰囲気だった」と篠原会長は振り返ります。自身の専任幹事時代、背負う激務、要求、板挟みのストレス、つい口調も厳しく、会員は萎縮していきました。「犠牲になる専任幹事を作ってはダメだ！」との考えから、ひとりひとりのスター化や会員チーム制運営は生まれ、みんなが自主的に喜働する単会になったのです。

どんな会員でも活躍できる育成システム

新宿区では、月1回の「ハッピー交流会」（10分スピーチ×6名）、というオリジナル企画があります。「あの人の会員スピーチの続きが聞きたい」という声を受けて研修チームが人選、次の晴れ舞台を用意します。

他に3～4か月に1回開催の「りねん経営発表会」（30分スピーチ×2名）では、例えば会員の事業、家族の想いの詰まった着物を



和ドレスにアップサイクル、日本の自然や文化を書き伝える等の理念の話だけでなく、会員がモデルになりドレス撮影会、みんなで書に挑戦と、楽しさ満載です。会員スピーチ、オリジナル企画から段階を踏んで続く舞台は講話です。

会員ファーストのムードに 人が自然と集まる

取材当日も2名の方が入会されました。取材日に会員スピーチされた方も入会1年も経っていないのに、感動的な話をされました。中には会員スピーチにあわせて倫理指導からの実践、当日ゲスト招聘する会員もいるとのこと。

新宿区の取り組みは、会員が自主的に動き、助け合うチームでの運営や、会員スピーチ等に挑戦していける気風。その背景には篠原会長による、前の週や当日の会長挨拶でのティーアップ。1か月前からチラシへ名前掲載してショーアップ。みんなの応援、前週の良いスピーチに習う姿勢。スター会員ひとりひとりの背中を押していく独特の気風が作用しています。

新宿区の取材を終えて気付きました。普及に悩むならズバリ、「あなたの単会は楽しいですか？」「みんな喜んでお役を務めていますか？」入会された新入会員が数か月で離脱するなら、穴の空いたバケツです。会員同士が新しい会員を巻き込み楽しめる相乗効果のある気風が良い場の創造へ。行く行くは単会会員が、法人スーパーバイザーとなって、ゲストが自然と集まる単会として継続するのだと感じました。



取材：小西功一（練馬区①）渡辺剛（豊島区①） 撮影：齊藤聡（四谷⑤） 記事執筆：渡辺剛（豊島区①）

コロナ禍の中、なぜ倫理に入会したのか。

そして、生じた変化とは

広報委員会コロナ入会同期会

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活様式に変化をもたらし、経済的にもダメージが広がり続けています。この状況にあって、倫理法人会に入会して月額1万円の会費を払う決断をした「コロナ入会」メンバーの心境とは。社会が不安を抱える時期にあえて倫理法人会を選んだ広報委員の声から「思わず入会したくなった！」そのポイントを探ります。

コロナ禍だからこそ、自分磨き

—倫理法人会に入会を決断したきっかけは？

小西 練馬区の鴨頭嘉人相談役の動画を見てオンラインサロンに参加し、そこで倫理法人会を知りました。経営者モーニングセミナー（以下、MS）後の説明会で鴨頭相談役が【倫理は分かってからやるのではなく、やったら分かる】と仰っており、入会を決断しました。

満田 私も鴨頭相談役の動画に興味を持ち、zoomで練馬区と江戸川区のMSに参加しました。起業した翌日だったこともあり、自分磨きと経営者の皆様との繋がりを持つために入会しました。

小林 府中・調布の会員さんには仕事での知り合いが非常に多く、一緒にお酒を飲む柄柄でした。会員数が50社を切りそうだと伺い「力になりたい」と思い入会しました。

西尾 倫理法人会の存在を知り、すぐに入りたいと思っていましたが、知り合いは全て他県に入会していました。東京で倫親（りんおや；この場合は紹介者）になってくれる人を探していた所、浅草の現会長と知り合えたため、入会しました。

倫理の学びは今までの習慣を変える

—実際に倫理法人会に入会して良かったと感じたことがあれば教えてください。

小西 倫理を学んでいる人は、自己を向上させよう、成長させようとしている人が多く、実践や体験報告を聞くことで自分にとって大きな気づきが得られていると思います。

西尾 先週、一晩中仕事していた日があったんですよ。仕事が終わったのが朝6時でした。急いでMSの会場に向かったのですが、既に講話が始まっていました。途中で入ると邪魔をするだろうと入室をためらいました。私は我が強いタイプだったので、以前はそういう配慮をしたことがありませんでした。自分がそんなことも配慮できるようになったんだと思ってその時にびっくりしました。本当に朝早くMSに参加しているだけですが、心境がずいぶん変わったなと思います。

学んだことを

自然とアウトプットしたくなる

—入会后、さらにご自身が未会員の方に倫理の学びについてお伝えした経験はありますか？

西尾 未会員の方から「企業経営者の集まりで勉強になるところを知らないか」と聞かれ、メールで倫理法人会のことを少し紹介しました。ご自宅近くのMSに参加されて、その場で千葉県の単会に入会されました。以前から私をメンターとして慕ってくれた一人でした。

満田 ある昼休みに、工事現場の女性ガードマンに59秒の愚痴を聞いて貰いました。59秒の理由（「万人幸福の葉（以下、葉）」に心を1日1分も曇らしてはならないと書かれているので、59秒以内に心の曇りを晴らしましょうという事業体験エピソードによる）を話したら、その女性ガードマンも倫理法人会のことを知っていました。持参していた葉と「職場の教養」をプレゼントしたところ「すごいね、読んでみるね」と喜んでくれました。

今だからこそ、最高の人生に！

—この時期だからこそ、伝えたいことはありますか？

小西 こういう時期だからこそ、倫理を学んで、共に成長して、共に最高の人生を歩んでいきたいですね。

一般社会では、苦手なことに挑戦させてもらえる機会は少ないです。特にこんな時期は、一度の失敗が命取りになると考える方も多と思います。だからこそ、倫理法人会の活動で苦難に向き合う＝苦手なことにあえて挑戦し、成長することが重要だと思います。この倫理体験をさらに広めていきたいです。

この時期にあえて倫理法人会を選んだメンバーの話に共通しているのは、厳しい社会情勢だからこそ自らを向上させようという姿勢でした。自ら積極的に学び、体験し、その喜びを自然に伝える。コロナ前から入会している会員にとっても気づきの多い取材となりました。

3月入会 練馬区 小西功一（ににたん）



6月入会 浅草 西尾行雄



7月入会 江戸川区 満田 三



9月入会 府中・調布 小林功治



取材：下司康子（新宿区◎） 記事執筆：小林英司（練馬区◎）・下司康子（新宿区◎）・満田三（江戸川区◎）・加藤賀子（大田区◎）

普及はチーム戦、得意分野で明るく楽しく

大津菜穂子普及拡大委員長インタビュー



14年前に新設単会の立ち上げメンバーとして入会し、2014年には廃会寸前の晴海準倫理法人会を見事に正単会として復活させ、昨年は東京都で10年ぶりの新設単会、銀座倫理法人会を180人という会員数で立ち上げるという、まさに今期の東京都普及拡大委員長として申し分のない実践経験をお持ちの大津菜穂子氏に普及について語っていただきました。

まずはマニュアル通りに“ビシッ”と決める

入会直後から事務長、専任幹事、東京都の女性委員長、研修委員長などを歴任されてきた大津委員長でしたが、研修委員長に就任して2年目に大きな転機が訪れました。当時、会員数が34社で経営者モーニングセミナー（以下MS）に出席するのは2、3社、会長すらMSに来たり来なかったりで、都が廃会を検討していた晴海準倫理法人会の会長に抜擢されたのです。大津委員長が「正直自分だけではとても出来ない」と思っていたところへ練馬区倫理法人会が応援隊を結成して毎週、MSの運営を手伝いに来てくれました。

「普及に苦しんでいる単会はどこもMSを運営する人数が足りていません。MSは本来マニュアル通りにビシッと行って初めて参加ゲストの心を動かす運営が出来るのですが、役職者は複数の役をこなさなければならず、ゲストを心からおもてなしをする余裕がないんです」。

晴海の経験から生まれた“会援隊”

マニュアル通りのMSを理解している他会の人間が応援に入ることによって、その単会の役職者が運営を学ぶことができる。MS自体のクオリティが上がり、役職者がゲストのおもてなしに集中でき、入会率が高まるということを体験した大津委員長は、それだけではなく、他会の運営を手伝うことが応援する側にとっても大きなメリットがあることに気づきます。「当時も会員数の多かった練馬区では、いくらやる気があっても中々お役が回ってこない。ところが晴海に来れば会長挨拶以外は何でもやらせてもらえる」と皆とても嬉しそうでした。他会への普及協力をすることが自らの成長に繋がり、それによって自単会での運営リーダーとしての能力が磨かれていくことを確信した大津委員長はこの経験を活かし、今期、他会のMSをサポートする“会援隊”という仕組みをつくり、現在すでに4単会の運営のお手伝いをしています。

◀ 記事は左列より

普及は会全体で楽しんで行う

大津委員長は、個人普及数が多いのは単会会長、他はほとんどが入会3年目までの会員さんだと言います。「当然のことですが、入会当時はまだ自分の周りは未入会の人ばかりだからです。晴海の会長の時は、新入会の人には必ず『この会で一緒に学びたいと思う人を連れてきてください』と伝えていました」。

マニュアル通りのMSが出来るようになった単会はチームとしてそれぞれのメンバーが得意なことをし、より効果的な普及も出来るようになります。「入会間もない会員さんたちは倫理法人会の説明が出来なくても『楽しい集まりがあるよ』とお誘いし、会場で倫理法人会についてしっかりと説明出来る役員さんが説明する。他の人はとにかく明るく温かいおもてなしに徹するなど、それぞれが得意なことをやって会全体で目標を達成して行くのがベストな普及」だそうで、「皆が得意な事をやっていくから普及も楽しく出来る。会員数が増えれば会の活動費にも余裕が出てくるので、運営もまた楽しくなるんです」と本当に楽しそうに語る大津委員長は「会員が増えることで出来ることが増えてくると、実際に役職者の見える世界が変わり、会に活気が出てきます。そしてそれは会員やゲストに確実に伝わります。その意味でも普及はとても大切なのです」と締めくくってくれました。

普及は普段の実践の結晶

今回お話を伺った大津委員長は、入会当初からまさしく実践を重ねてこられた方だということが、その言葉の一言一言から感じられました。これは純粋倫理を長い間真摯に実践してこられた先輩たちが口を揃えて言っていることですが、「口でどんなに良いことを言っても実践が伴っていないければ人の心を動かすことは出来ない」。

MSに参加するゲストの方たちはその会の人たちの所作、言動をしっかりと見ています。たとえそれがチーム戦だとしても、まさにMSに誘う人、ゲストをもてなす人、倫理法人会の説明をする人等、それぞれの普段の実践が結果として現れるのが“普及”なのではないでしょうか。



『Tokyo倫理アライブ!』とは?

公式放送第一回(12/5)の舞台裏にあった大人たちの本気と本音に迫る

あなたは、「Tokyo倫理アライブ!」をご存知ですか?

「Tokyo倫理アライブ!」とは、東京都倫理法人会の飯作幹事長と広報委員会が3回のプレ放送と特別放送番組を経て、12月から毎週土曜日にライブ配信している番組。台本書いたり、編集したり、時間測ったり、出演したりするのも、全て有志によって出来上がっているのに、背景が合成だったり、カメラが切り替わったりと本格的な放送が成り立っています。

今回は公式放送第一回(12/5)の舞台裏の取材と、練馬区倫理法人会の広報委員坂本喜秀氏、また、配信スタッフの中でも要となっている、練馬区倫理法人会配信チームのリーダー秋田典広氏、正能秀昭氏の取材を元に、なぜ大人が本気になっているのか?に迫っていきます。

Tokyo 倫理 アライブ!



写真中央・秋田典広氏
手前・正能秀昭氏



気づくことができました。今は「認められる努力」より「認める努力」を意識しています。まるで、高校生が文化祭の準備をしている時のような気持ちです。ただ、「かみさんが第一」という軸を自分にしっかり打込み活動しています。」(正能秀昭氏)

番組配信に協力するにあたって

「『Tokyo倫理アライブ!』への技術協力の話聞いて、自単会のもので、広報委員でもないのに協力することを、どんな想いで受け入れられましたか。」

「毎週配信の番組とは知らず『一度だけお手伝いすればよいのだろう』と思ってお引き受けしました。練馬の配信チームとして東京都倫理法人会のお役に立てるのであればと思います、配信チームのみなさんにお声がけしました。」(秋田典広氏)

「『自分が楽しんでいる配信の経験と機材を活かす場をいただけるならという思いで参加しています』と言うと理路整然と聞こえるかもしれませんが『新しい長靴を買ってもらった子供が、雨の日にワクワクしている状態』と言ったほうが的確です。力を出しきる場を与えていただいたことに感謝しています。」(正能秀昭氏)

配信を重ねて気づいたこと

「毎回、反省や気づきがあり、その度に改善しています。特に特番『なんば鍼灸院の流儀』では様々なトラブルがありました。しかし、飯作幹事長の意向の下、記念すべき第1回目の公式放送をそのお詫びから始めたように、真正面から苦難を受けとめて進んでいくことで、スタッフの結束もモチベーションもより高まっていきます。放送のたびに、どんどん流れがよくなっていますね。」(秋田典広氏)

「Tokyo倫理アライブ!」からの気付き

「集まったスタッフが『やるぞ!』と一致団結するためのベースとして『明朗』→『笑顔』が大切であることですね。」

「笑顔に始まり、笑顔で終わる」

「仕事でも同じような心構えで行うことが良い結果につながるのだということに再認識いたしました。」(秋田典広氏)

「毎回、何かしら失敗します。それを、飯作幹事長とコトウ広報委員長が『鏡』とばかりに、引き受けてしまいます。その姿を見ると、『ああ、こういうことか』と気づきや反省があり……もうやらずにはいられなくなりますね。ミキサー席からそれ以上の笑顔を送ろうと決めました。気づきや経験はしっかりと、練馬の配信にも持ち帰ります。おかげで、機材も自然と増えていきますね(笑)。」

また、自分はプレーヤーとして動きがちでした。それが、今回これだけの居場所を与えていただき、『関わっていただく方々の居場所を作りたい』と思うようになり、それが、私のワクワクする事だと

スタッフの声

「今日は都合で本番には参加できませんが、セッティングのマニュアルだけでも作れば、少しでも役に立てたらと思って来ました。配線の1本、1本を大切にしている姿勢に学びがありました。」(瀧澤佐江子広報委員)

「カメラの画面だけ見てもダメで、秋田さんが欲しい画を捉えられるように気配りしています。周りに心を合わせる実践で、自分の成長を感じています。」(カメラ:練馬区配信T・後藤良行氏)

「番組制作に携わると『責め心』が出てきたり、初めてチャレンジするお役に戸惑ったり。それでも現場を楽しんでいます。」(調整:金崎嘉治広報委員)

「倫理法人会では拍手をする機会が多いのですが、この放送を通じて良いタイミングで良い拍手を出せるようになってきました。配信中、コメントをくれる妻にも感謝。」(FD:小西功一広報委員)

「だいたい放送の流れはわかってきたのですが、今日は少し油断していました。一歩先の展開を考えて、事前の準備をしていれば、もっと色々なことができたな、と感じています。」(調整補助:山本博基広報副委員長)

「『Tokyo倫理アライブ!』をはじめ、委員会活動全体が倫理の学習と実践の場になり、委員それぞれが成長できるように」というコトウ広報委員長の方針の通り、実際の放送の現場では、様々な体験が起こっています。「私の思いつきで始まったこの番組。支えてくれているスタッフの空気感を少しでも視聴者の皆さんに伝えられるようにMCをしている。」と飯作幹事長。その想いに答え、番組の裏側を伝えるサブチャンネル開設の動きも進んでいます。実際の放送はFacebook公式ページまたはYouTubeにて「東京都倫理法人会」で検索してご視聴ください!

12/12の放送では
東京都倫理法人会 高嶋民雄会長に
ご出演いただきました



取材:渡辺靖仁(三鷹市⑦)・富岡健一(湯島⑦)・藤下修(港区⑦) 記事執筆:渡辺靖仁(三鷹市⑦)・富岡健一(湯島⑦)
猿英:森田邦彦(福生・羽村③)



この混迷の時代に事業拡大を目指す、 すべての経営者へ

このコロナ禍にあって、売上げを110%も伸ばしている倫理法人会所属の鍼灸院があります。一体どんな方法で？

東京都倫理法人会の公式ライブ配信番組「Tokyo倫理アライブ！」が特番「なんば鍼灸院の流儀」として、その秘密に迫りました！

今回は「Tokyo倫理アライブ！」神田錦町特設スタジオでの現地取材と、特番の主演となった杉並区西倫理法人会専任幹事で東京都倫理法人会朝礼委員でもある南波利宗院長へのインタビューから具体的な方法を紹介します。

特番になってしまう「なんば鍼灸院」って!?

「なんば鍼灸院」もコロナ禍においては、他の治療院と同様に、患者さんから予約のキャンセルが相次ぐ状況だったと言います。4月度は久しぶりの赤字になってしまったとのこと。

しかし、コロナ以前から「なんば鍼灸院」では倫理法人会が推奨する「活力朝礼」を導入していました。南波院長は「後ろ向きを取るのが活力朝礼」と語ります。アクセルを踏んでいるのに前に進めないのは、同時にブレーキも踏んでいるから。後ろ向きを取ることは、そのブレーキを取り払うこと。これがコロナ禍でもご自身やスタッフの意欲に奏功しました。

南波院長が「静かに明るい性格！」と言われるのは、ブレーキを取って滑らかに進んでいるから。だからこそ、赤字になっても目の前のマイナスではなく、未来の目標・目的を目指し続けることができたとおっしゃいます。

え!?! 活力朝礼をするとそんなに変わるの？

毎朝アウトプットの時間＝朝礼を持つことで、信念や情熱のありかを言語化して発信できるようになったと南波院長。

Tokyo倫理アライブ！特番 朝礼委員会プレゼンツ 「なんば鍼灸院の流儀」

2020.11.25



モチベーションが上がる時間を毎朝共有することが、「個人にとっても組織にとってもコロナを乗り越える力になった」と振り返ります。

普通の朝礼と活力朝礼ってなにがちがうの？

一般的な朝礼は、業務内容の連絡事項などの確認や反省、改善点の共有、目標達成のためのモチベーションを上げるために行われることがほとんどです。

しかし活力朝礼は、(倫理法人会の組織母体である)倫理研究所が毎月発行している朝礼用冊子「職場の教養」を使用することが唯一の条件。業種や職場環境、会社ごとの状況によって朝礼の内容も千差万別、業務連絡も行われない場合が多くあります。「スタッフと社長との職場における課題が一致した時、活力朝礼が最もパワフルに働く」と語る南波院長の静かな口調には深い実感がこもっていました。

朝礼委員会がサポート？

活力朝礼の導入を希望する会員企業は、東京都倫理法人会朝礼委員会のサポートが受けられます。それぞれの職場の状況や目標をヒアリングして、最適な朝礼の方法を提案、さらに南波院長他、実際に活力朝礼を導入されている委員による朝礼指導もしていただけるとのこと。なんと贅沢なサポート！受けたい手はありませんね。

「朝礼は方法論。どういうゴールに向かって進みたいか？ そのためのレールのようなものです。本当は何がしたいのか？ 目先のことでなく、ゴールに目線を向けるきっかけになります！」と、南波院長は語られました。

活力朝礼を導入して職場のエネルギーを高めることで、あなたの職場で何が変化するのか。ぜひ試してみませんか？朝礼委員会の全力のサポートをぜひご利用下さい。



取材：吉岡邦郎(ひの多摩②)・加藤朗子(江東区②) 撮影：森田邦彦(福生・羽村③) 記事執筆：加藤朗子(江東区②)

女性委員会主催 第3回定例会

11月19日(木) 東京都倫理法人会女性委員会の定例会が行われました。

今回はゲスト参加可能のイベントとして、倫理法人会でも特に多くの女性ファンを持つ新倉かづこ委員長の講話が行われました。男性会員が圧倒的に多い(全体の約7割)倫理法人会において、女性委員会はどんな目的で何を目指して活動しているのでしょうか？

ゲスト16名参加、総勢87名参加のイベントにその答えを見つけました。

女性委員会ってどんな会？

45の単位倫理法人会(以下、単会)を持つ東京都倫理法人会で、新倉かづこ委員長を中心に今期は52名の女性委員が「しなやかで凛として社会に参画する女性経営者の育成」を目指し活動しています。

イベント風景

大勢の方が参加されるイベントに合わせ、距離を保てる広い会場が用意され、消毒・検温・マスク着用の徹底。開口部は全て開放し換気も万全にされており、至る所に女性ならではの細やかで優しい心配りを感じました。

新倉かづこ女性委員長講話

「女性委員長になるために生まれてきた新倉かづこです！」と、真紅のワンピースで華やかに、しなやかに、優しさ溢れる笑顔で登壇された新倉委員長。「女性が喜んで行動すれば周りも良くなる」その実践を示す自己紹介から講話がスタート。参加者の9割が女性の会場が美しい情熱に包まれるのを感じました。

女性のあり方については、倫理運動の創始者である丸山敏雄先生の言葉の原点に戻る事が大切とのこと。「女はゴム鞆のように生きよ。男は機関車のように生きよ。」

女性の特性を活かして生きる……女性ならではの発想力、想像力(創造力)、復活力、感性が豊かで潤滑油的な役割りを果たせる女性の特徴が男女のバランスを良くする。この言葉にはそんな深い意味があることを教わりました。

「個」が輝くこの時代に「自分経営者」である自覚を持つことの大切さ、自分個人の名前の前に「株式会社」を付けることを意識するというお話に、真剣な眼差しで参加者全員が聴き入っていました。

新倉委員長の想像を絶する体験談、たくさんの人たちを教育された経験値、そして深い知識と優しいお人柄から沢山の学びを得て参加者一同ワンランク上の女性に(1割参加の男性も)ステップアップできた40分の講話でした。



70名参加の「華麗なる昼餐会！」

ランチ会として、広く素敵なレストランで美味しい食事をいただきました。

女性委員会は「同じ釜の飯を食べる」ことを大切に実践しています。



女性委員会のこれから

品格と知性と美を兼ね備えたリーダー育成のために女性経営者向けのセミナー、シンポジウムを計画しています。1月はシャネルから学ぶ「働く女性のあり方」をテーマに、女性の憧れココ・シャネルを題材とした学びを実施予定です。

今、輝き続ける女性たち

女性は「陰(いん)」であるが、決して暗くあるべきではなく「受け入れる」という事を学びました。女性委員会は経営者、個人事業主、お勤めの方など様々な職業の方で構成されています。そんな委員たちに共通するのは、明るい笑顔で学び楽しむ姿でした。

毎回定例会の参加率が高い理由も納得の女性委員会！

新倉委員長をはじめ全員が本当に楽しそうで、笑顔が輝く会でした。広報委員の私たちも、次回も参加したくなってしまいました。貴女も笑顔あふれる東京都女性委員会に参加して、素敵な女性を目指してみませんか？

取材：服部尋(立川・昭島②) 加藤朗子(江東区②) 撮影：満田三(江戸川区⑥)
レイアウト：服部尋(立川・昭島②) 記事執筆：加藤朗子(江東区②)

持続可能な豊かさを未来に

～今経営者が知っておきたい社会貢献とは？～ 連載第2回

瀧澤佐江子(ちより・渋谷区④)

1985年、倫理研究所の丸山竹秋前理事長は、すべての生物、無生物、自然物に対する“みちすじ”を総括して「地球倫理」と名づけられました。

倫理研究所の活動のひとつとして砂漠緑化活動「地球倫理の森」があります。10代の頃から5回参加しているという石合祐加子さん(城南副地区長・品川区会員)にお話をうかがいました。

「地球倫理の森」に行くには北京まで飛行機に乗り、さらに夜行列車と車で十数時間かかるそう。石合さんは「活動を通して、水道をひねれば水が出てくるありがたさ、買い物に行けば何でも容易に手に入ること、あたりまえのことをありがたいと感じました」「どんな想いで(倫理運動の創始者)丸山敏雄先生が倫理を広めたのかということに思いを馳せ、一生の友ができました」と、当時を思い出しながら語られました。

「7万社の会員が地球倫理に基づいた経営をしたら大きな力となりますね」と、その光景を想像しておっしゃる石合さんと、思わず笑顔になりました。

11月、菅総理大臣は、G20サミットの中の会合で「温暖化への対応は、大きな経済成長につながるという発想の転換が必要だ」と指摘しました。企業の成長が豊かな地球環境につながる。そう考えたらワクワクしませんか？

一般社団法人倫理研究所
「地球倫理の森」の詳細はこちら

https://www.rinri-jpn.or.jp/earthrinri/forest_ulanbuh/



ここにたんの夫婦愛和で商売繁盛！

連載第2回 新宿区倫理法人会 永田義博相談役

ここにたん(小西功一・練馬区①)

今回インタビューしたのはこの方。

夫婦で倫理に参加し夫婦ともに講話聴講や人と会うのが大好きな、新宿区倫理法人会の永田相談役(株式会社 永田商会 代表取締役会長)にお話を伺いました。

永田相談役は、昭和10年生まれ85歳。元気の秘訣はやはり倫理をやっているからでしょうか…！その秘訣を探ります。

永田相談役は、なぜそんなに元気ハツラツとしているのでしょうか。「ストレスがたまると心や体に影響が出ると言いますね。悩みのない人はいないというけど、私には本当に悩みがないんです。敢えて言うなら女性にもてないのが唯一の悩みかな(笑)」

夫婦仲良くすることは、世間一般的には、とても難しいが。「私たちは亥(夫)と卯(妻)の夫婦なので卯は亥に逆らうことなく、揉め事ありませんでした。また、業務転換の際には妻の支えが大きく、まわりからも奥さんのお陰だねと言われますが、まさにその通りだと思います。」なるほど、奥様の支えがあって、事業も上手くいったと。

相談役は、最後にこのように夫婦愛和の秘訣を語ってくれました。「人や物との関係も、自然との関わりも運命でさえ、全て自分の心次第で変わっていきます。原因は自分にあると常に心して、責め心をなくし、全てに感謝の心をもつという生き方の法則を倫理から教わり実践しました。それが夫婦愛和に繋がり今に至ると思っています。」

そう穏やかに語る永田相談役の笑顔を拝見し、数十年後にはこうなっていたい！と思った、ここにたん(小西功一)でした。

たまには空を眺めて

～倫理法人会文化活動(しきなみ短歌会・秋津書道)の紹介～ 連載第2回

富岡 健一(湯島⑦)

※GAMI号に誤りがありました。秋津書道を開催しているのは、「千代田区」ではなく、今回取材した「文京区」でした。大変失礼いたしました。

「書道箴言」
練習は、必ず日に一度
ずぼらは、向上の敵である
常によるこんで書き 求めて観よ
人の、書をほめ、己の、書を愛せよ
言は、心声なり、書は、心画なり

先日、文京区倫理法人会で開催している秋津書道に初めて参加させていただいた。そこには、筆運びはもちろん、紙や筆の特徴や選び方まで指導する講師の上山康子研究員と、熱心に指導を受ける20名ほどの参加者の姿があった。

「我」を捨てて、お手本に心を合わせるんです。「一人一人、提出された作品に添削を入れていく上山講師の言葉と筆使いを、食いつくように見つめる添削を待つ参加者。また、和やかな雰囲気の中、初心者も常連も思い思いに筆をとる。そんな場を作る世話役の方々の心遣い。「普段の生活」が「書」に表れるんですよ」と上山講師が一言。「ご自分のどちらの作品がいいと思いますか？」と、作品を並べて検討する目を養うこともある。

この場のすべてが「倫理指導」と「実践」の場のように、素晴らしいなあと感じる一方で、筆者の額に冷や汗が出る。「まあ、私もここまで来るのに、時間がかかりましたけどね」という、上山講師の言葉に、何か温かいものが筆者の心に流れた。きつとこれは、丸山敏雄先生から脈々と受け継がれてきた師弟関係の系譜と、そのもつと奥にある日本の「道」の精神への尊敬なのだろう。

秋津書道の原点である「書道箴言」の載った資料を片手に、自分の生活を朗らかに描いていこうと、凛と澄んだ空の下、次の仕事へ向かうことができたのだ。

取材をこころよく受けていただきました、文京区倫理法人会の皆様に感謝申し上げます。

日本橋倫理法人会

4月開設予定!

若手からベテランまで
経営者・後継者・創業者の
育成・学びの場を設立します!
毎週金曜日7:00~8:00
モーニングセミナー開催予定

1月後半より18:30から設立準備室セミナー開催予定!

東京都第2区(中央区・文京区・台東区)衆議院議員 辻清人氏
中央区区長 山本泰人氏
(株)人形町今半 代表取締役社長 高岡慎一郎氏
(株)築地玉寿司 代表取締役社長 中野里陽平氏
(株)てっぺん 取締役会長 大嶋啓介氏 他、多数登壇予定

大江戸地区アフタヌーンセミナー

1/9 14:00~16:30

株式会社玉寿司 代表取締役社長

中野里陽平氏講話

「逆境をも乗り越える一貫経営」

参加費：無料 ※非会員の方も参加OK!

会場：文京区民センター2A会議室

- 1/09 朝礼委員会朝礼マスター研修
- 1/09 研修委員会主催経営計画勉強会
- 1/09 大江戸地区アフタヌーンセミナー
- 1/16 会長会・理事長研修
- 1/18 むさしの吉祥寺倫理経営講演会
- 1/29 杉並区西倫理経営講演会
- 2/01-02 首都圏方面会
- 2/04 東大和・武蔵村山準倫理経営講演会
- 2/05 足立区倫理経営講演会
- 2/06 研修委員会主催純粋倫理学習会
- 2/07 会長会・普及拡充勉強会
- 2/11 浅草倫理経営講演会
- 2/15 上野倫理経営講演会
- 2/16 新宿区倫理経営講演会
- 2/17 豊島区倫理経営講演会
- 2/18 ひの多摩倫理経営講演会
- 2/19 中間目標達成日
- 2/19 小金井市倫理経営講演会
- 2/19 「会長杯」ゴルフコンペ
- 2/20 深川倫理経営講演会
- 2/22 青梅市倫理経営講演会
- 2/28 江戸川区倫理経営講演会
- 3/04 渋谷区中央倫理経営講演会
- 3/06 研修委員会主催経営計画勉強会
- 3/07 会長会・普及拡充勉強会
- 3/08 中央区倫理経営講演会

図書紹介

倫理を深く学びたい人に送る、
心を揺さぶる図書紹介。
あなたの新しい発見が
ここにあるかもしれません。



『やればできる 元気が出るりんりの言葉』
倫理研究所編 五〇〇円(税込)

毎年、年末になると「標語カレンダー(会員企業贈呈用)」が各単会を通して配られます。標語カレンダーの毎日の標語は、倫理研究所の創設者である丸山敏雄先生の名言を読みやすく現代版にアレンジしたものです。『やればできる 元気が出るりんりの言葉』①では、過去10年間の標語より、選りすぐりの名言を選んで解説しています。なんと五〇〇円+送料一五〇円。倫理研究所ホームページ内の『倫理の本棚』というページで販売されています。支払いは郵便振替の後払い。クレカ情報の入力が必要ありません。56頁の薄い本なので、活字が苦手な方でもすぐに読めます。

開いてみると実に深い言葉の連続。心に刺さりやすい。大切な人へのプレゼントとしてもオススメです。倫理法人会名が入っていない一般向けの『2021 標語カレンダー』をあわせて購入してお贈りするのでもいいですね。

さて、最近の筆者が朝起きて最初にすることは「標語カレンダーをめくること」です。そして、カレンダーの前に立ち、直観で頭の中に浮かび上がったことを所属単会のLINEグループに投稿しています。この実践を毎朝繰り返しているうちに、不思議と「やればできる」という自信が湧いてきました。

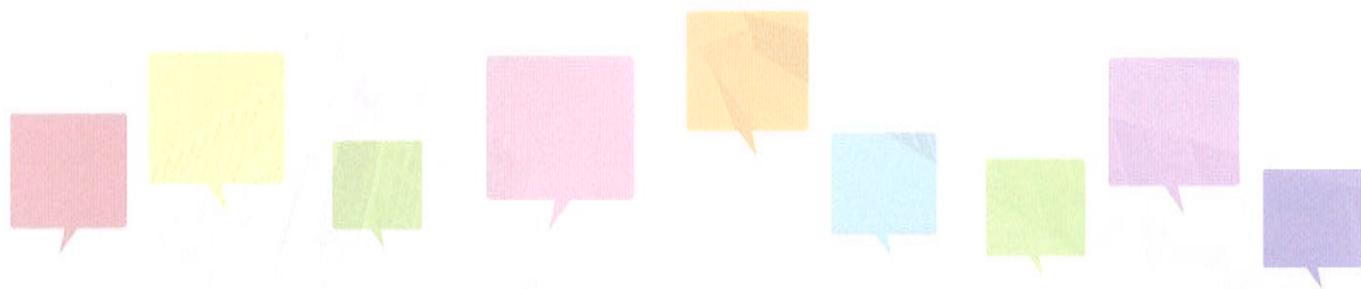
今回の記事執筆にあたって『倫理の本棚』を初めてのぞきましたが、なかなか興味深い本が並んでいます。

まずは本書を読むことが『倫理の本棚』を利用するきっかけになれば幸いです。かくいう私は早くも2冊目、3冊目を購入しました。合計金額が三、〇〇〇円以上になると、送料が無料になります。このネット上の『倫理の本棚』から自分自身のリアル本棚を作っていくように思っています。

何か思いついたら、まずはやってみましょう。興味を持った本を読んでみることも、その一つだと思います。

本書の46頁にはこう書かれています。
『今日しなければ再びする日はない』

記事執筆・森田邦彦(福生・羽村③)



特集

倫理法人会の魅力

GOOD MORNING 3
VOL.406 MARCH 2021

東京都倫理法人会広報誌グッドモーニングは隔月発行です

編集後記

倫理を実践し『夫婦愛和で商売繁盛』を実現させるよう今後も精進していきたいと思います。ここにたん(練馬区①) 記事編集時に大失敗をしましたが、とても良い経験になりました。広報委員は気づきの宝庫です。小林英司(練馬区⑥) 他チームの応援で取材同行し沢山の学びがありました。ありがとうございました。齊藤聡(四谷⑤) チームのそれぞれが出来る事にチャレンジしました。チャレンジは最高の学びです。武田光留(墨田区④) 毎回思うのですが、やり切った時の爽快感は格別です。何でもやってみるものですね。森田邦彦(福生・羽村③) 初の取材&記事作成、たくさんの学びがありました!本誌が皆様のお役に立てれば嬉しいです。佐藤敦史(あきる野市①) インタビューは普段聞けない貴重なお話が多く学びが深まります。皆さんも是非ご参加ください。三浦トモ(杉並区西⑤) 今回も取材させて頂いた方々の「人としてのありがた」に感銘を受けました。役得ハンパないです。金崎嘉治(品川区③) 1人では達成できないことを仲間となら達成できる。各個人の実践の「化学反応」を感じました。瀧澤佐江子(渋谷区④) テープ起こしでの参加でしたが、正しさより楽しさが普及につながるという感想を持ちました。松永克則(世田谷区⑤) 単会それぞれの普及の取り組みについて取材を通して伺い、とても勉強になりました。前山田 彩(銀座⑧) 初めての経験で必死でしたが何とか記事にすることができました。助けて頂いた皆様に感謝です。秋元亜希(文京区⑧) インタビューと記事の執筆。学びと気づきが最大になる最高の組み合わせということを再認識!坂本喜秀(練馬区③) インタビューではここでしか聞けないお話の宝庫でした。貴重な体験をありがとうございました!田中秀太(練馬区⑤) 短期間で各チームの枠を超え、協力し合い完成したGM1月号も沢山の人の手に届いてほしいです。山本博基(世田谷区/副委員長) GMは日々積極的に活動し、苦難と向き合い、実践し続ける私たちの成長記録です。コトウユキ(大田区/委員長)

紙面内容向上のため、GOOD MORNING1月号のご感想をお寄せ下さい。
こちらのアドレスに簡単なアンケートと感想投稿フォームをご用意しています。
<https://www.tokyo-rinri.net/gmenq>



東京都倫理法人会の皆様へ

安心のサービスをご提供いたします。

葬祭業安心度調査AAAの東京葬祭が
明瞭なお見積りと豊富な経験・実績でお応えします。



ご葬儀は安心して任せられる
東京葬祭

もしもの時は、セレモニーコールセンターへ。

0120-88-6111 年中無休 24時間受付

お問合せの際は「倫理法人会会員」とお伝えください。

倫理法人会ご優待内容

- ・葬儀基本セット **30%OFF**
- ・供花(御葬家分) **10%OFF**
- ・仏壇、仏具、墓石 **各種割引**

コロナ倒産対策WEBセミナー

永続企業の創り方 10ヶ条セミナー

受講料 **無料!** 日程 1/13(水) 15:00~16:00 (要事前申込)



打っ手は無限
講師 藤岡 秋男

いかなる状況からでも、承継の道筋を創ることを得意とするプロ集団、TOMAコンサルタンツグループの会長。「永続企業の創り方10ヶ条」ほか著書多数。

神が原作者の演劇。主役はあなた(本書の自分である真我)

企業の業績アップ・うつ病寛解・ガンが消えた・借りの境地进行体感・夫婦大調和・真我の自覚めetc...
すべてが同時に実現する極意
佐藤康行の三層構造理論がリリースされました(CD版)



従来の心理学を凌ぐ真心理論

お申込みはこちら
価格：3,000円...
CD、冊子ページ付き



お問い合わせ【セミナー申込、事業承継後継者探し等】
TOMAコンサルタンツグループ株式会社 03-6266-2561
TOMA 100年企業創りコンサルタンツ株式会社 TOMA セミナー 検索
会場:東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館3階
https://toma.co.jp/seminar/21-0113/



セレモアブランド
経済性と明確な費用 安心と信頼のお葬儀

家族葬から一般葬

〈品質保証 ISO9001 認証〉
セレモアパック葬®

セレパク 検索

398,000円(税抜)からお選びいただけます。

セレモア品質®
— CEREMORE QUALITY —



特別割引特典のお得な会員制度
ご安心のための
セレパククラブ
入会金 10,000円のみ
・月々の掛金なし・年会費なし



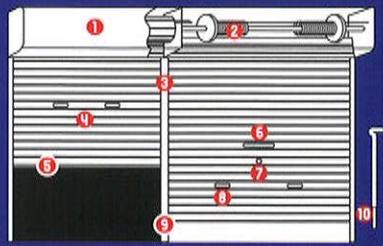
品質保証 ISO9001 認証
株式会社 セレモア

24時間 365日 で相談・お問合せ承ります
0120-57-1121

資料請求の方に
セレモア「私の記録ノート」プレゼント!

重いシャッターすぐ電話 ☎ 中央シャッター 10のOK!

上下シャッターの修理営繕はおまかせ!



- 1 ケース板だけでも取替OK!
- 2 パネだけでも取替OK!
- 3 中柱だけでも取替OK!
- 4 スラットだけでも取替OK!
- 5 水切だけでも取替OK!
- 6 ポストだけでも取替・取付OK!
- 7 カギだけでも取替・取付OK!
- 8 手カケだけでも取替OK!
- 9 埋め金だけでも取替OK!
- 10 フック棒だけでもOK!

※その他、困った事はなんでもご相談ください。

どんな些細な仕事でも喜んでさせていただきます
(株) 中央シャッター
(株) 中央テント ☎ 03-3605-0700



東京都倫理法人会
公式アカウント
続々誕生!